

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 薬品製造化学

(氏名) 畑山 範

(職名) 教授

【研究テーマ】

1. 新規合成反応剤の開発研究 ▪
2. 効率的有機分子構築法の開発研究 ▪
3. 生理活性天然物の合成研究 ▪
4. ビタミン D 化合物の合成研究 ▪

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. M. S. Shaheen, Y. Taira, A. Nakano, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Organocatalytic asymmetric synthesis of quinine and quinidine, *Tetrahedron Lett.*, **52**, 923-927 (2011). (IF: 2.618)
2. J. Ishihara, Y. Watanabe, N. Koyama, Y. Nishino, K. Takahashi, S. Hatakeyama: Indium-mediated Reformatsky-Claisen rearrangement, *Tetrahedron*, **67**, 3659-3667 (2011). (IF: 3.011)
3. H. Sasaki, K. Eto, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama, N. Kubodera: Synthesis of 1-deoxyeldecalcitol, a biologically interesting analog of 1α , 25-dihydroxy- 2β -(3-hydroxypropoxy)vitamin D_3 (eldecalcitol), *Heterocycles*, **83**, 1385-1394 (2011). (IF: 1.093)
4. S. Shibahara, T. Matsubara, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Total synthesis of NW-G01, a cyclic hexapeptide antibiotic, and 34-epi-NW-G01. *Org. Lett.*, **13**, 4700-4703 (2011). (IF: 5.250)
5. K. Eto, M. Yoshino, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Total synthesis of oxazolomycin A: *Org. Lett.* **13**, 5398-5401 (2011). (IF: 5.250)

(A-c) 著書

1. S. Hatakeyama: (Aza)-Morita-Baylis-Hillmann reactions, *In Science of Synthesis 2011/6, Asymmetric Organocatalysis 1 (List B eds; Georg Thieme Verlag) 2011*

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 中嶋弥穂子、荒木良介、中里未央、前田隆浩、白濱敏、八坂貴宏、神田哲郎、大園恵幸、青柳潔、塚元和弘、畑山範：長崎県五島列島での医薬共修による地域医療実習の実践, *医療薬学* **37**, 457-465 (2011).

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. Noboru Kubodera, S. Hatakeyama: Process Development for the Practical Production of Eldecalcitol by Linear, Convergent and Biomimetic Syntheses, The 4th International Symposium on Vitamin D and Analogs in Cancer Prevention and Therapy, Homburg-Saar, Germany, May (2011)
2. Jun Ishihara, Y. Watanabe, N. Koyama, Y. Nishino, K. Takahashi, S. Hatakeyama: New Variant of Reformatsky-Claisen Rearrangement Mediated by Indium Chloride, 22nd, French-Japanese Symposium of Medicinal and Fine Chemistry, Rouen, France, Sep (2011)
3. Kohei Eto, M. Yoshino, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Organocatalytic Asymmetric Synthesis of Inthomycin A, B and C, 8th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, Tokyo, Japan, Sep (2011)

B 国内学会

(B-a) 招待講演, 特別講演, 受賞講演

1. Susumi Hatakeyama: An Approach to Substituted Pyrrolidines Based on One-pot Time Integration Strategy: Synthesis of Kaitocephalin, 新学術領域研究平成 23 年度第 1 回成果報告会、北海道、2011 年 6 月 21 日

(B-b) 一般講演

1. 高橋圭介、石原 淳、畑山 範: Kaitocephalin の合成研究、29N-am07、日本薬学会第 131 年会、静岡、2011 年 3 月 29 日
2. 横井裕一、高橋圭介、石原 淳、畑山 範: (-)-エングレリンの合成研究、30N-am15、日本薬学会第 131 年会、静岡、2011 年 3 月 30 日
3. 渡邊由貴、小山典子、西野幸宏、高橋圭介、石原 淳、畑山 範: インジウムを用いる Reformatsky-Claisen 転位反応の開発、31P-0247、日本薬学会第 131 年会、静岡、2011 年 3 月 31 日
4. 松原孝昌、高橋圭介、石原 淳、畑山 範: オフィオジラクトン類天然物の合成研究、31W-am01、日本薬学会第 131 年会、静岡、2011 年 3 月 31 日
5. 西丸達也、竹下公人、近藤維志、高橋圭介、石原 淳、畑山 範: Marinomycin A の合成研究、31W-am15、日本薬学会第 131 年会、静岡、2011 年 3 月 31 日
6. 吉野円香、江藤康平、高橋圭介、石原 淳、畑山 範: インソマイシン類天然物の全合成、31Y-pm01、日本薬学会第 131 年会、静岡、2011 年 3 月 31 日
7. 渡邊由貴、小山典子、西野幸宏、高橋圭介、石原 淳、畑山 範: インジウムを用いる Reformatsky-Claisen 転位反応の開発、P-16、第 21 回万有福岡シンポジウム、福岡、2011 年 5 月 21 日
8. 江藤康平、吉野円香、高橋圭介、石原 淳、畑山 範: オキサゾロマイシン A の全合成、2-06、第 9 回次世代を担う有機化学シンポジウム、東京、2011 年 5 月 28 日
9. 高橋圭介、山口大介、Lu Shenlei、石原 淳、畑山 範: C-H アミノ化を基盤とするカイトセファリンの全合成研究、30、第 53 回天然有機化合物討論会、大阪、2011 年 9 月 29 日
10. 浦辺郁也、高橋圭介、石原 淳、畑山 範: Cinatrin C1 及び C3 の合成研究、1P-015、

第 41 回複素環化学討論会、熊本、2011 年 10 月 20 日

11. 松原孝昌、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：オフィオジラクトン類天然物の合成研究、1P-016、第 41 回複素環化学討論会、熊本、2011 年 10 月 20 日
12. 高橋圭介、横井裕一、小嶺敬太、石原 淳、畑山 範：エングレリン A の全合成、10-08 第 37 回反応と合成の進歩シンポジウム、徳島、2011 年 11 月 7 日
13. 野村祐介、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：P-糖タンパク質アンタゴニスト、ウェルウィスタチンの合成研究、1C-13、第 28 回日本薬学会九州支部大会、福岡、2011 年 12 月 10 日
14. 山下裕貴、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：抗菌活性ハリクロニン A の合成研究、1C-18、第 28 回日本薬学会九州支部大会、福岡、2011 年 12 月 10 日
15. 富澤 慧、高橋圭介、石原 淳、Jacques Eustache、畑山 範：抗結核活性天然物ツガシン cmc-A の合成研究、1C-19、第 28 回日本薬学会九州支部大会、福岡、2011 年 12 月 10 日
16. 宮原哲哉、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：クルチオリドの合成研究、1C-20、第 28 回日本薬学会九州支部大会、福岡、2011 年 12 月 10 日
17. 宮本尚平、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Conia-エン型反応の開発研究、1C-21、第 28 回日本薬学会九州支部大会、福岡、2011 年 12 月 10 日

【研究費取得状況】

1. 高効率な分子構築法に基づく細胞機能制御活性創薬リード天然物の合成；日本学術振興会科学研究費補助金、基盤研究（A）、代表、平成 22 年度～24 年度
2. ワンポット連続反応を基盤とするグルタミン酸受容体作用天然物の高効率合成；文部科学省科学研究費補助金、新学術領域研究、代表、平成 22 年度～23 年度
3. 新規シンコナルカロイド酸-塩基複合型不斉有機触媒の創製；長崎大学高度化推進経費（チャレンジ支援）、代表、平成 23 年度

【学会役員等】

1. 日本薬学会化学系薬学部会副部長
2. 日本薬学会九州支部監査
3. 日本学術会議第 22 期連携会員
4. 九州大学先導物質化学研究所外部評価委員
5. 物質・デバイス領域共同研究拠点共同研究推進委員会委員

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	149 編	（邦文）	1 編
総説（欧文）	2 編	（邦文）	4 編
著書（欧文）	2 編	（邦文）	10 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
特許	21 件		